

## 平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討委員会（第7回） 議事概要

日 時：令和2年7月30日（木） 14：00～16：00

場 所：奈良県文化会館 第2会議室

出席者：朝廣 佳子氏、魚島 純一氏、内田 和伸氏、北口 照美氏、来村 多加史氏、  
中村 孝氏、増井 正哉氏、石原 昌伸氏、山下 進二氏

概 要：多くの利害関係者がおられることにより、委員の率直な発言に支障が生じる恐れがあるため、平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討委員会運営要領第4条に基づき、非公開で開催。

県より、下記議事について、別添資料により説明。

委員からの主な発言は以下のとおり。

### 議事（1）遺産影響評価（中間報告（案））について

#### ○主な意見の概要

- ・本委員会は、中間報告の内容を審議するのではなく、委員の考えを意見する。
- ・「真正性」という単語は、厳密には、世界遺産に関して限定的に使われるもの。
- ・フォトモンタージュによる視点場が朱雀門の東側だけではなく、正面や西側からもあれば良い。
- ・中間報告は、自己点検のプロセスであるといえる。

### 議事（2）整備計画案について

#### ○主な意見の概要

- ・平城宮跡歴史公園内の既存施設利用との相乗効果が見込まれる施設を目指し、「ワクワクした施設」を整備することが伝えられると良い。
- ・埋蔵文化財について、貴重な遺構が発見された場合の対応を確認しておくが良い。
- ・ランドマークとなる建造物は、高さや大きさ等の規模感を実際に体験してもらえると良い。
- ・ランドマークとなる建造物は、大宮通りに面することによる都市建築として沿道景観への影響も大きい。

### 議事（3）パブリックコメント実施について

#### ○主な意見の概要

- ・表面が文字ばかりで、手に取り辛いので、整備イメージ図が最初にあった方が良いのではないかな。
- ・若年者にも関心を持ってもらえるような見せ方を工夫しても良いのではないかな。